

特定非営利活動法人 (NPO)

# 日本タイポグラフィ協会

JAPAN TYPOGRAPHY ASSOCIATION



# 文字だからできること、 文字にしかできないことを 求め続けて。

私たちの暮らしには文字があふれています。普段手にする新聞や雑誌、書物のレイアウト。商品パッケージ、企業や店舗・ブランドのロゴタイプ。携帯電話やWEBの中…。文字の佇む場所は限りなく広がり、情報を伝える手段として、文字はなくてはならない存在です。

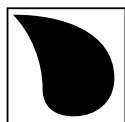
「タイポグラフィ」とは、文字による視覚的なコミュニケーションの手法であり、それを豊かに行う技術です。文字そのもののもつ力に魅せられ、文字での表現の向上と、文化の発展を目的として、私たちは活動しています。

日本タイポグラフィ協会（Japan Typography Association。略称JTA）は、1964年に結成された「日本レタリングデザイナー協会」を母体として、広義のタイポグラフィの発展を願って1971年に名称変更して生まれました。設立より45年。グラフィックデザイナーはもとより、タイプフェイスデザイナー、研究者、教育者などの国内・海外の個人会員と法人会員（個人180名、法人18社。2009年5月現在）で構成されています。

日本タイポグラフィ協会は、平成13年に特定非営利活動法人（NPO）の認証を受け、現在では公益法人として活動しております。



タイポグラフィと関連する主なフィールド。



## 協会のシンボルマーク

1971年の名称変更の際に設定。  
日本語の読点「、」をシンボルとし、  
日本のタイポグラフィックデザインの発展と  
啓蒙への思いが込められています。

Design: SHINOHARA Eita

# 今をあらわす 文字を収める。

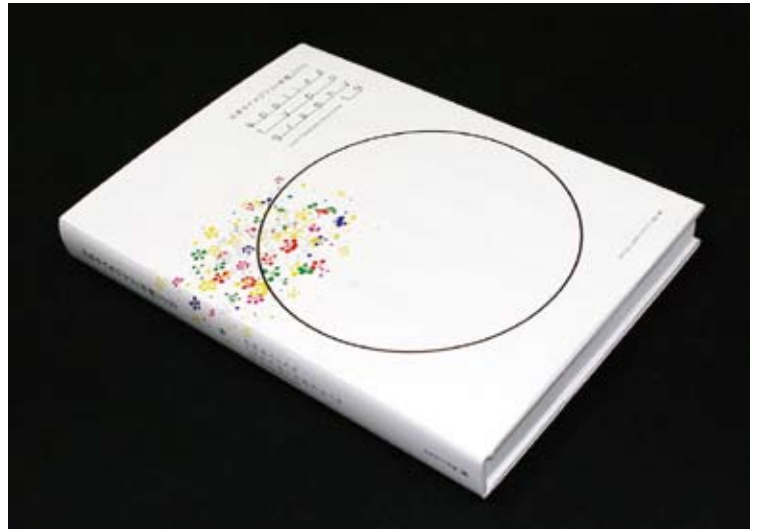
『日本タイポグラフィ年鑑』の発行。

さまざまなコミュニケーションで必要とされるタイポグラフィ。その巧みな姿を収録した『日本タイポグラフィ年鑑』。1969年に『日本レタリング年鑑』としてスタートし、2009年には30冊目が世に送り出されました。作品は広く海外からも一般公募で受け付け、会員から選ばれた審査員の厳正な審査により、全応募作品の中から「グランプリ」1点、各部門ごとに「ベストワーク賞」が授与されます。

また2009年からは次代を担う若者への登竜門として「学生部門グランプリ」を新設。1名（1グループ）に副賞として賞金100万円が贈呈されます。

この年鑑は、当協会の財産であり、海外でも評価の高いタイポグラフィ・デザインの記録です。

年鑑の応募については事務局へお問い合わせください。



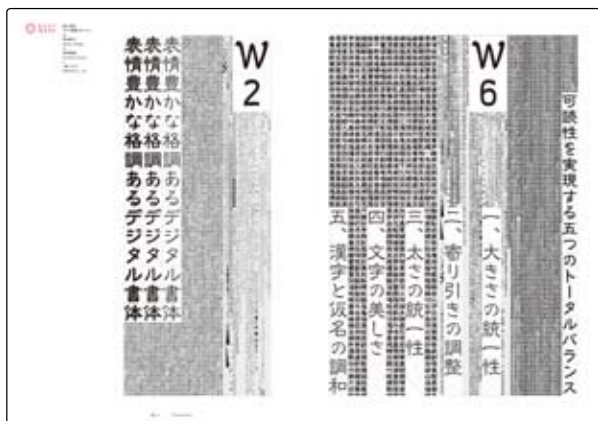
Art Direction: NANBU Toshiyasu



2009グランプリ作品  
サントリー BOSS  
「ボスの休日」



エディトリアル部門ベストワーク



タイプフェイス部門ベストワーク



2009学生部門グランプリ作品  
「TRANSPARENT」



## 文字への情熱を讃える。

協会顕彰、佐藤敬之輔賞。

NPO法人の認可を受けた2001年より、タイポグラフィの重要性と科学性をアピールするため、賞を設置しました。タイポグラフィに関するさまざまな活動をおこない、協会発足と活動の基盤となった故・佐藤敬之輔氏の名を冠した協会顕彰。これまでデザイナーやタイポグラファー、研究者といった、タイポグラフィに多大なる情熱を傾けた個人・企業団体へ授与しています。他のデザイン団体の賞とは一線を画した、特色ある顕彰です。

最新の情報はWEBサイトにてご確認ください。

●第1回（2002）

個人：矢作勝美

企業団体：有限会社 字游工房

●第2回（2003）

個人：中村征宏

企業団体：株式会社 大修館書店 [大漢和辞典]

株式会社 モリサワ [モリサワ・タイポグラフィ・スペース]

●第3回（2004）

個人：杉浦康平+石井裕子

企業団体：有限会社 嘉瑞工房

●第4回（2005）

個人：水井 正

企業団体：凸版印刷株式会社 印刷博物館

●第5回（2006）

個人：森 啓

企業団体：グループタイポ

●第6回（2007）

個人：小塚昌彦

企業団体：学校法人 桑沢学園 桑沢デザイン研究所

学校法人 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科

●第7回（2008）

個人：ヘルムート・シュミット

企業団体：日本新聞教育文化財団 [日本新聞博物館]

●第8回（2009）

個人：綿貫宏介

企業団体：株式会社 ジャストシステム



賞牌

Photo: KIHARA Katsuyuki

## 文字をアピールする。

展覧会や講演会、セミナーを開催。

国際交流の一環として、ニューヨーク・タイプ・ディレクターズ・クラブ (N.Y. TDC) と提携し、その優秀作品展を毎年開催しています。この展覧会は実物のグラフィック作品が持つパワーやディテール、エディトリアルデザインにおける装幀や文字組みの絶妙さなどを、「手にとって実感させること」を第一の目的としています。作品写真では伝わってこない生のボリュームを多くの人々に体感いただいています。また、『日本タイポグラフィ年鑑』ベストワーク作品展や、会員参加の展覧会、セミナーなども随時開催し、文字の魅力を社会にアピールしています。



協会設立40周年記念講演会  
杉浦康平 文字の宇宙 (2004)



第55回N.Y.TDC展 (2009)



## 広く文字をとらえる。

雑誌『タイポグラフィックス・ティー』発行。

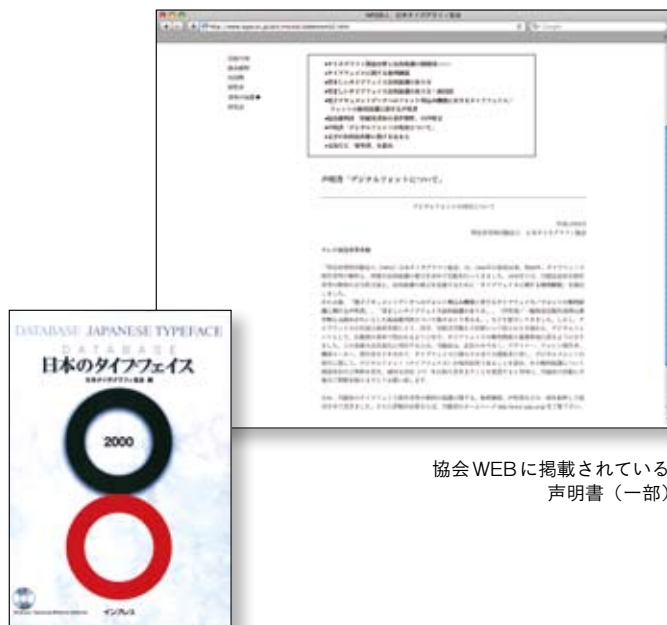
創刊以来20年を越える『タイポグラフィックス・ティー』。現在では通算256号を数え、デザイン関連団体が発行する出版物としては異例の長寿を誇ります。「日本の活字の歴史」といったアカデミックな内容から書籍やサインなど、その時代や場所を切り取った特集なものを取りあげています。また、会員に広く記事執筆を依頼することで、会員紹介の場にもなっています。



## 文字の権利を守る。

タイポグラフィの知的財産権保護。

タイポグラフィの発展を掲げる上で、表だって見える展覧会や出版活動だけでは対処できない問題が数多くあります。それはロゴタイプやマーク、タイプフェイスなどの著作権と知的財産権の保護です。当協会では主に知的財産権委員会が中心となって裁判事例の資料収集、調査をはじめ、協会内外に対するアンケートや啓蒙、権利侵害時の支援活動を行っています。また、現行法に対する問題を提起し、関係省庁、企業に対して要望書や声明書の公示など地道な活動を続けています。



協会WEBに掲載されている  
声明書（一部）

## 文字で繋がる。

研究会を通して、  
経験とネットワークを。

研究会や企業見学会などを東京と大阪を中心に定期的に行っています。研究会は、文字への知識を深めるとともに、参加する会員同士の親睦を深める場にもなっています。

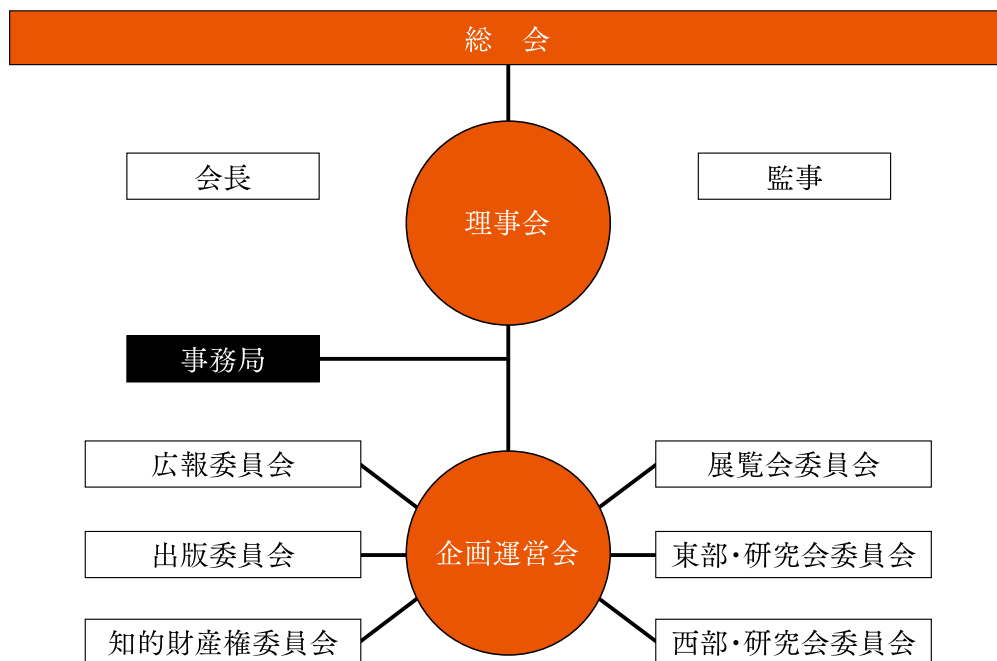


もじもじトークショー（2008）



51歳のヘルベチカ  
ブックカバー展  
(2008)

## 協会の構成



### ●総会

総会は全会員で構成し年1回開催します。会の運営に関する重要事項の議題を審議・決定する最高機関です。またタイポグラフィ関連の論議や情報交換、親睦を目的とした交流の場です。

### ●理事会

理事会は選挙で選ばれた9人の理事で構成し年6回開催します。全会員を代表して、協会の年間および長期的基本方針や協会全体の諸問題を審議し、議題を総会に提案する機関です。また総会で議決した案件の執行や、総会の議決を要しない業務の執行を行います。

会議には理事の他、監事や事務局長も参加します。

理事の役割は、理事長、副理事長、専務理事（事務局担当）、財務、海外、事業、総務、行事、各委員会担当を担い、会の活動を円滑に推進します。

### ●企画運営会議

企画運営会は、役員と各委員会の委員長で構成し年4回開催します。理事会の基本方針と各委員会の事業計画との調整を図り、また事務局との実務調整をとりながら協会として統合された活動方向を審議・決定します。会議には一般会員の参加も自由ですが議決権はありません。

### ●事務局

協会運営のための日常業務とともに総会・理事会・企画運営会等で決定された事項の事務的な補佐をする活動推進機関であり、内外に対する協会を代表した窓口です。

### ●各委員会の役割

以下の委員会は、希望する5名以上の委員によって構成し、定期的に開催しています。各委員会は目的に応じて活動と業務に取り組む、時には他の委員会と連携します。また、新企画を企画運営会に提案したり、決定した事項の推進業務をおこないます。

#### 広報委員会

協会の内外に対しての広報活動を担当。『タイポグラフィックス・ティー』の企画・編集業務を行います。

#### 出版委員会

『日本タイポグラフィ年鑑』の運営と編集業務を行います。

#### 知的財産権委員会

タイポグラフィ作品の法的権利の分析や過去の係争事例の資料収集、権利保護に関する調査研究・啓蒙を行います。

#### 展覧会委員会

協会が主催する展覧会の企画運営、および、関連交流事業等の企画・推進を行います。

#### 東部・研究会委員会

関東地区を中心に東日本地区の会員で組織され、タイポグラフィ全般の研究や情報交換、親睦を行います。

#### 西部・研究会委員会

関西地区を中心に西日本地区の会員で組織され、タイポグラフィ全般の研究や情報交換、親睦を行います。

## 入会のご案内

当協会は、日本のタイポグラフィの啓蒙と発展を願い、一人でも多くの仲間を求めています。  
活動の主旨にご賛同いただけましたら、ぜひ、ご入会お申し込みくださるようお願いいたします。

### ●入会資格

本協会の目的に賛同できる個人、法人及び団体。

### ●申込み

入会申込書（本書添付もしくはWEB）と以下の条件の作品をそえて、協会事務局までご送付ください。年6回開催される理事会での確認の上、書面により直接申込者にお知らせいたします。理事会での確認後、入会金と会費をお支払いいただきます。

### ●入会時の提出作品

個人の場合

作品2～5点。もしくは論文・著書数点。  
作品は、使用または発表したもので実力が充分判断できるもの。  
作品の裏に作品番号、作家名、作品名、協力者、制作年、クライアントの他、必要があれば説明文を記入してください。

法人及び団体の場合

企業案内、もしくは事業案内、カタログなど。

### ●入会金

個人：30,000円

法人／団体：100,000円

### ●会費

個人：48,000円（半期ごとの請求。24,000円×2回）

法人／団体：96,000円（半期ごとの請求。48,000円×2回）

※中途入会の場合は、入会月から半期末の間を月割りとします。

※海外在住の個人会員、所在地が海外の法人／団体会員の会費は半額（円換算）となります。

### ●会員特典

■『日本タイポグラフィ年鑑』への作品出品料割引があります。  
■協会が発行する機関誌『タイポグラフィックス・ティー』（年4回発行）が無料で配布されます。

■協会主催のセミナー、イベント、シンポジウムなどに優先的に参加できます。

■各委員会に所属することで、各出版事業、展覧会運営事業など、さまざまな研究活動を行うことができます。

■2年に一度発行される『タイポグラフィックス・ティー会員名簿号』などで作品を発表する機会が得られます。

■協会公式ウェブサイト・ウェブポートフォリオにて、作品を掲載することができます。

■協会公式ウェブサイトにて個展やグループ展の開催情報を掲載することができます。

■E-mail（もしくはファックス）による「E-Information」にて、協会員主催の展覧会情報やイベント、その他セミナーやデザインコンペなどの情報を発信いたします。また、希望があれば個展やイベント情報を会員へ発信することができます。

■「文芸美術国民健康保険」に加入できます。※文芸美術国民健康保険についての詳細は、こちら▶ <http://www.bunbi.com> をご覧下さい。

詳細および不明な点は事務局までお気軽にお問い合わせください。



JAPAN TYPOGRAPHY ASSOCIATION

特定非営利活動法人（NPO）

日本タイポグラフィ協会

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町3-12-7F

NPO 法人日本タイポグラフィ協会

Phone: 03-6661-7627 Fax: 03-6661-7628

e-mail: [office@typography.or.jp](mailto:office@typography.or.jp)

URL: <http://www.typography.or.jp>